

子どもの成長を応援する 山県教育ビジョン 2025

第三次山県市教育振興基本計画
(計画期間：2025年度～2029年度)

すべての子どもが「成長」を実感する教育
「チャンスのある学校」への改革

教育改革 Ver.2.0

「山県教育ビジョン2025」の教育改革へ

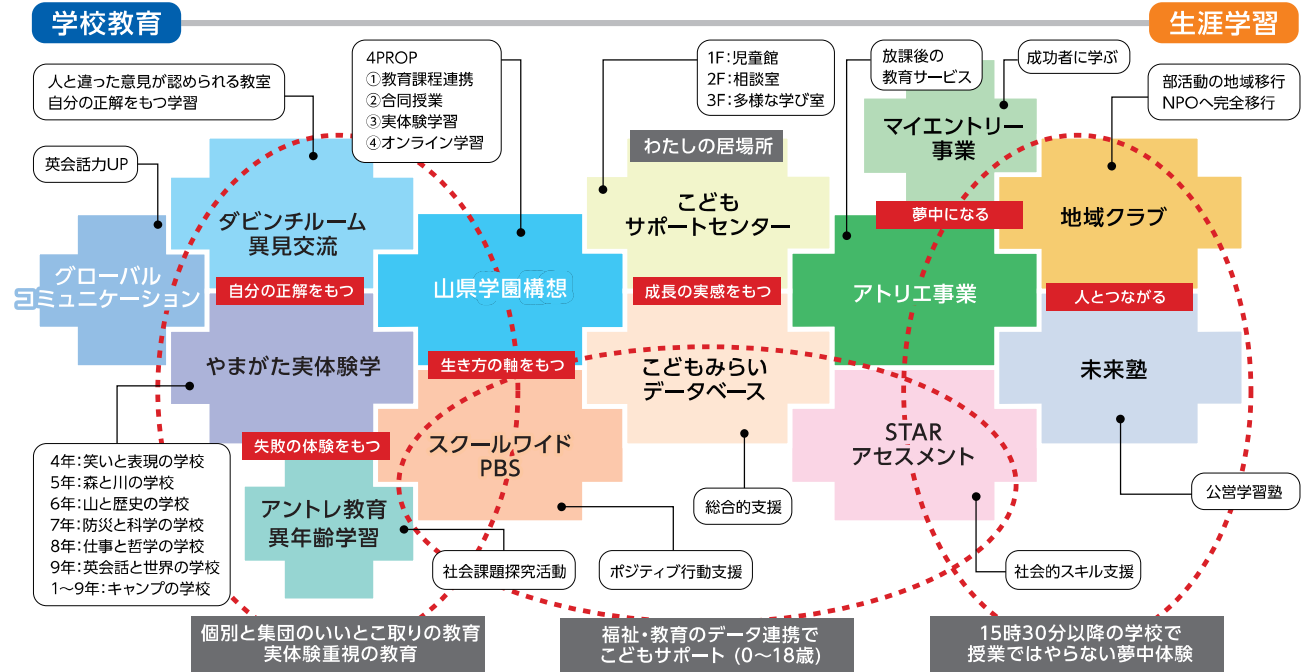
インターネットにつながるタブレットPCを持ち、チャットGPTをはじめとしたAIシステムを使いこなせば、「正解」らしき答えをもつことができる時代があるからこそ、山県の子どもたちには実体験を通して得た感性や思考力に裏打ちされた経験知を武器に、思慮深くかつ「自分の正解」をねばり強く表現できる術を獲得させたい。

一方で、一斉一律、学ぶスピードまで同じにする効率よい学習スタイルに加えて、違うことをしていても一緒にいられる学習空間をつくり、「個別最適」な学習スタイルを構築していく。「人と違う意見が認められる教室」として設計したダビンチルームは、「自分の正解をもつ教室」に進化させ、新たに学校ごとに設計した「ミケランジェローム」を新設し、各学校の違い(特色)を際立たせる。

ビジョン2025は、「学校らしくない学校」をコンセプトに、いわばコペルニクスの転回への挑戦と位置付けたい。例えば、「地域の中の学校」を「地域の学校」に、学校教育と生涯学習の融合による「未来の学校」と言うべき「学校のかたち」を具現化していく。15:30以降に、授業では教えてもらえない内容の学びの場「アトリエ教室」で様々な専門家と学ぶ居場所をつくり出す。

「希望の旗を振る」山県市子育て応援条例 2024.4.1施行

主要施策のデザインは、創発的戦略で発展



異見交流のダビンチルーム



実体験の学校



小中合同の大集団の活動



子どもサポートセンター



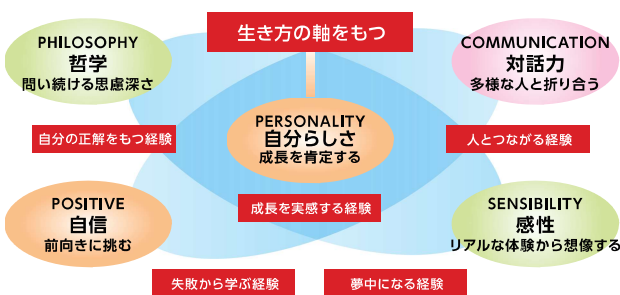
異年齢学習の探究活動



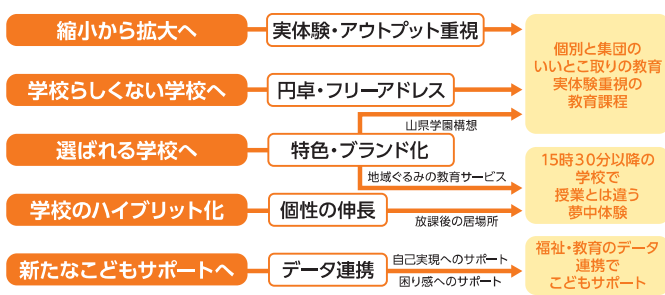
伝統芸能の継承

教育ビジョン2025の概観

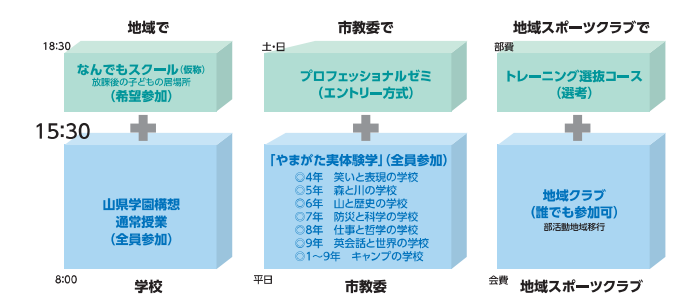
(1) 子どもには、未来をポジティブに生き抜くための経験をさせる



(2) 新しい教育の視点



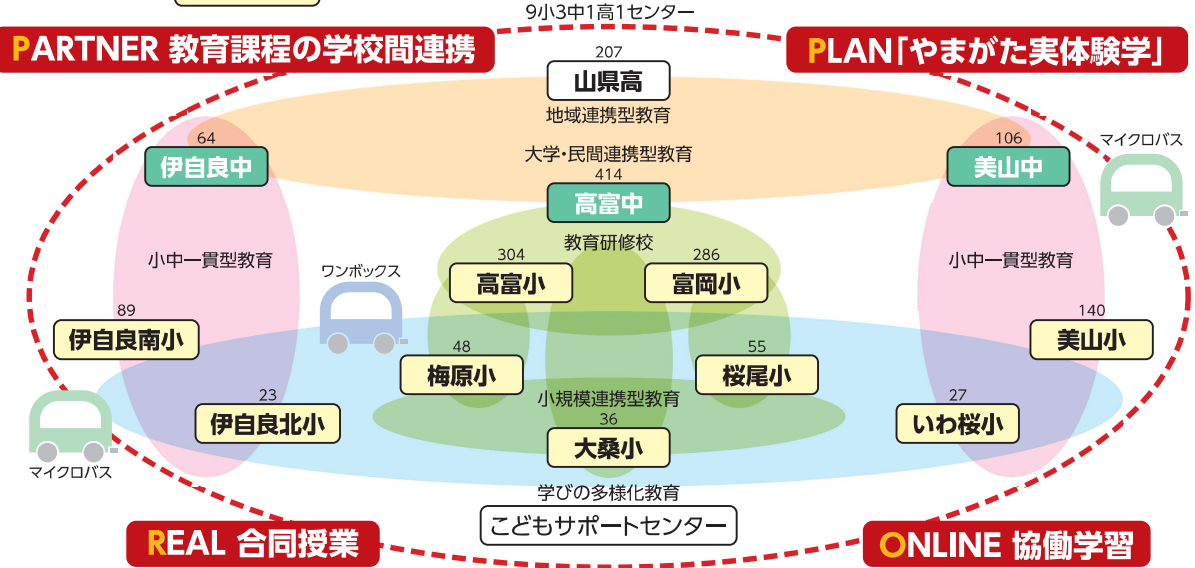
(3) 誰もが、選択でき、可能性を伸ばせるハイブリットな仕組み



山県学園構想 共通の教育方針 4PROP(支柱)

児童生徒数(2024.5.1時点)

学校名



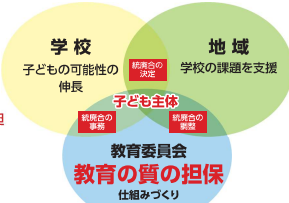
「学年100人時代」を見据えた 新たな義務教育の仕組みに 挑戦!

- 学校の存続
- 地域の教育力を維持
- 多様な教育方法の実現
- 小中切れめのない支援
- 学校の枠を超える学習

学校・地域・教委の役割は?

三位一体

子どもの未来に対する責任の分担
エビデンスに基づく意見交換
修正可能なゴールの設定

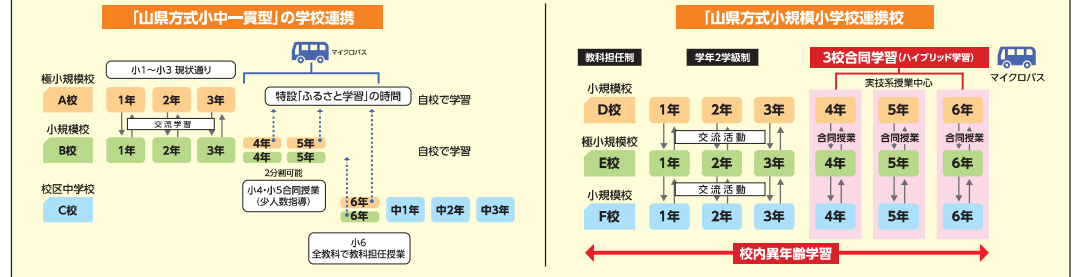


山県方式のメリットは?

山県方式「小中一貫型」

- ✓複式学級は全て解消
- ✓中学校との教育課程の連携がスムーズ
- ✓現行の教員数は維持
- ✓大きい集団の学習も少人数の学習も可能

合同授業の仕組み方は?



「適正規模」考え方の大転換!

山県市の学校適正規模の基本方針

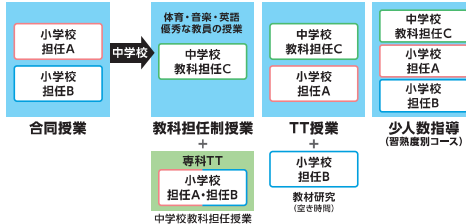
子どもの人数の問題ではなく、
一人一人の子どもの学びに軸足を置き、
多様な学びが選択できる学習環境を
整えるための適正規模化であり、
現有施設の有効活用を基本とする。

小集団による個に応じた指導
大集団による切磋琢磨する学習をマネジメント

- ◀ 前提となる環境
- 地域が学校を支える熱意
- スクールバス6台保有
- 高スペックの一人一台タブレットPC配備完了
- オンライン教育可能なネットワーク環境整備

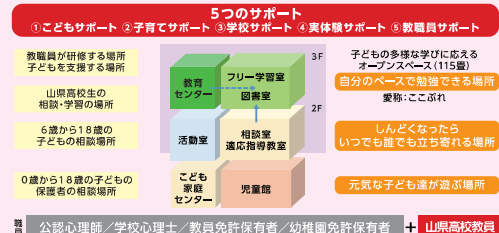
いろいろな授業形態で学力向上!

山県学園構想は教員数により多様な授業形態を可能にする。



ここもひとつの学校(居場所)です

山県市こどもサポートセンター



山県高校とのサポート連携!

山県高校の先生が山県市内の小中生をサポート
山県サポートの職員が山県高校生をサポート

